

DOPPELGANGER®

フォルダブルスーツケース / DCB277-BK
取扱説明書

20150105

■ 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

■ ご使用前に

・本製品は旅行用のスーツケースです。本来の用途以外には使用しないでください。

・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。

・本製品が破損した場合は、使用しないでください。

・梱包用の袋は、乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。

開封後は速やかに処分してください。

■ 各部名称

<インナーバッグ>



<スーツケース>



■ 製品仕様

インナーバッグサイズ: 約 H180 × W280 × D25mm (収納時) / 約 H450 × W540 × D130mm (展開時)

スーツケースサイズ: 約 H520 × W360 × D130mm (収納時) / 約 H520 × W360 × D250mm (展開時)

重量: インナーバッグ / 約 340g スーツケース / 約 2.3kg

耐荷重: インナーバッグ / 約 15kg スーツケース / 約 30kg

材質: フレーム / アルミニウム 生地部分 / ポリエステル キャスター部 / ポリウレタン

原産国: 中国

■ 保管・お手入れ上の注意事項

・直射日光や使用・保管状況により、色あせが生じることがあります。

・表面の汚れは、中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きしてください。

・シンナー、ベンジンなど溶剤や研磨剤を含むものをお手入れなどに使用しないでください。

・スーツケースは、紫外線を避け、通気性の良いところで保管してください。ビニール袋や段ボール箱に入れた状態での保管は、ハンドルやキャスター部の加水分解などの経年劣化を早めます。

・長期間保管後のご使用に際しては、ハンドルに荷重を掛け不具合の有無を確認するなど、あらかじめ点検をしてからご使用ください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- ・トローリーハンドルの上げ下げの際はパイプの連結部分やハンドルと本体との間に指を挟まないようにご注意ください。
- ・階段や段差のある場所での無理なキャスターの使用はおやめください。スーツケースが破損や転倒する恐れがあります。必ずスーツケース本体のハンドルを持ってご使用ください。
- ・移動している車両の中や傾斜面では、スーツケースが意図せず動く可能性があります。スーツケースのハンドルから手を離さないようにしてください。
- ・スーツケースを連続走行した直後には、キャスターに触れないでください。キャスター走行時に発生した摩擦熱で火傷する危険性があります。
- ・キャスターの車軸に砂やホコリが付着したり、糸クズなどが巻き付いた状態で使用するとキャスター故障の原因となります。定期的にキャスターが正常に動いているかご確認ください。
- ・荷物の過剰な詰め込みはスーツケースを破損させる恐れがあります。
- ・ガラスビン等割れ物の収納には、十分ご注意ください。割れたり、中身が漏れる恐れがあります。
- ・スーツケースの開閉には、十分ご注意ください。手や衣類などをささむ恐れがあります。
- ・破棄の際は各地方自治体の破棄区分に従ってください。

スーツケースを安心・安全にご使用いただくために

キャスター付きバッグは便利な反面、不用意な使い方により、思いがけない事故やトラブルにつながるケースも増えています。周囲の安全を考慮し、マナーを守ってご使用ください。

スーツケースはできるだけ体に近づけて引いてください。
周囲（特に後方）に気を配り、他の歩行者の安全に気をつけて行動しましょう。

繁華街・駅・空港などで・・・

- ◎急に立ち止まったり、急な方向転換をすると、思わぬ事故につながる場合があります。
- ◎スマートフォンを見ながら歩くと、周囲への注意がおろそかになり大変危険です。
- ◎スーツケースをひきながら集団で道幅いっぱいになり歩くと、周囲の通行の妨げになります。
- ◎駅の改札口を通る際も接触事故が起きやすくなります。まっすぐスムーズに通るように注意してください。

電車やバスなどで・・・

- ◎振動で動いたり倒れたりしないように、端に寄せる・寝かせて置くなど置き方に配慮してください。
- ◎タイヤで他の乗客の足を踏まないよう、足元にも注意してください。

階段やエスカレーターなどで・・・

- ◎段差があるところでは、引かずに手で持ち上げて運んでください。
- ◎エスカレーターに乗る場合は、周囲に気を配りスーツケースを自分の前、または後ろにおいた状態で乗り、万が一落下しないようにスーツケースをしっかり押さえてください。
また、エスカレーターのベルトをしっかり握り、自身が転倒などしないように注意してください。